

# 2008ビーバー隊ディキャンプ

牛久運動公園



2008.8.10

本日は、曇り空で遠くではカミナリが鳴っていましたが、27℃と涼しく快適なディキャンプになりました。通りすがりと称したボーイ隊(隊長・スカウト2名)と救護班のベンチャースカウトが支援します。ただし、やぶ蚊はブンブンです。で、どんなキャンプになったでしょう。



食テンの段取り中！ボーイだけど娘隊はやぶ蚊にくわれてブーイングです。まさに藪からモスキートである。



食テン張り。こうやって。あーやって。



ビーバースカウトとマスコット集合！大きな輪で……



「自分の荷物は自分で運べ」 by M副長



コネコネ。フルーツポンチに入れる白玉をつくります。



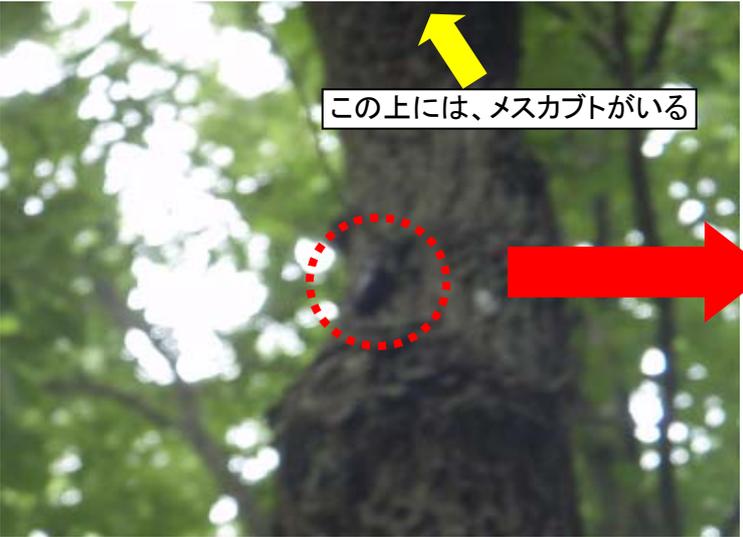
こちらは、野菜の下ごしらえ中。なにが出来んのかな？



さすがにボーイ女子スカウト、調理はかなり好きなようだ。他もこのように取り組んでもらいたいものだ。



ビーバーお供のカブスカウト。夏キャンプにそなえてカマ焚き係りを任命。



この上には、メスカブトがいる



こんな感じである。ボーイ隊長曰く「M副長が歩く先にはカブトムシがいる」本人曰く「九州の田舎育ちなので、虫の気配を感じるのだ！」

M副長が、カブトムシ(オス)発見！それにしても今回は、手ぶれ写真が多いなー。反省！



ビーバースカウトたちは、「サンタさんへお手紙」を書きます。親としては、内容が心配だ。



最近ボーイ隊長のお気に入りのハンモック。両端に木の枝を取り付け改良。ご満悦なのだ。

★★★★★★★★★  
**Merry Christmas**  
 ★★★★★★★★★★  
 暑苦しい！

なんか変だぞ！ 地球温暖化の影響か？今年の夏はおかしいぞ！アブラゼミは、ほとんど見かけないし、カブトムシの発生も少なく、ノコギリクワガタは全然いない。九州の実家の弟が言うには、ミヤマクワガタの取れる場所が山の上の方に移動しているようだ。このままでは、海拔20mの牛久には、カブトムシがいなくなってしまうのでは！ 来年は、里美村から幼虫を大量に貰って来ることにしよう！





かまど君は、ブリキのバケツを利用して作成されているのである。

本来は、羽釜の蓋のニギリは2本であるが、手抜きで1本にしたらしい。本人に記憶はない！

M副長作成の「かまど君」 ちなみに羽釜の蓋も手作りなのだ。(記憶では25年ぐらい前に実家にいるころ作成)

スカウトたちに、お釜で炊いたご飯を食べさせるつもりが、火の番を他人任せにしたせいで焦げてしまった！ 残念！ 証拠隠滅！（密かに自宅に持ち帰り）



ボーイ娘スカウトたちは、ハンモックで休憩中。



なぜか、いつも、ハンモックがブランコになる。この後どっちかが落ちこちたらしい。



ビーバースカウトたちは、まだ「サンタさんへお手紙」を書いています。



こんどは、ビーバースカウトたちがハンモックでユラユラ。二人ずつ仲良く交代に乗るのだぞ。





「そーれ！」(ナベアツ風でどうぞ)「1・2・サン!・4・5・ロク!.....」



だんだん力が入ってきているようだぞ!



「おとっと! 危ねーでねーか!」

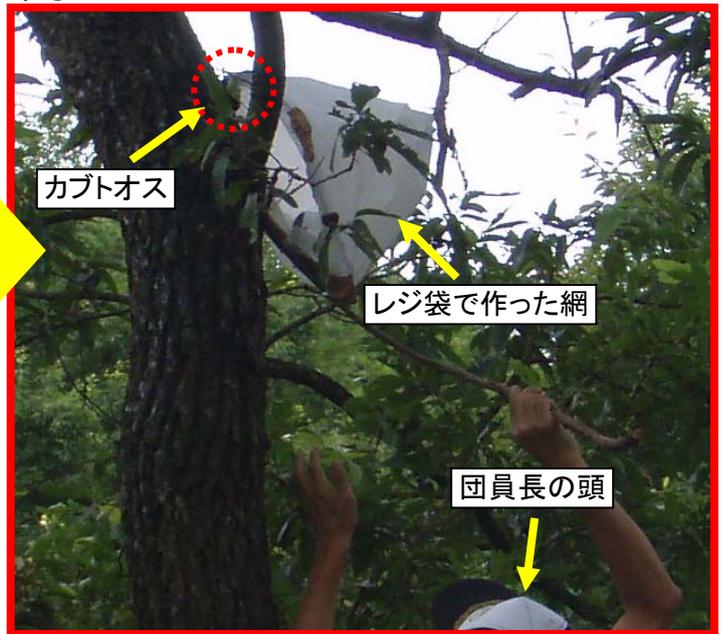


この写真は、茨城県連HPの【OPENING PHOTO夏全開】に掲載されています。

「そーれ!」だから、ブランコではなく、ハンモックなんですけど! 今度は、ブランコを作ってやった方が良さそうな気がする



拡大



帰省してくる孫のために、カブトムシを捕獲中の団委員長。ジジも、たいへんなのである。



九州へ帰省中、インドネシアオオクワガタを取りました。これも、地球温暖化の影響か! 誰かが外来種を放虫したのだろうか? そんな馬鹿な! 実際は、スーパータイヨーの、ゲームセンターのクレーンゲームで、プラ水槽入りを見事1回でGET!したのであった。チャン・チャン!



# いただきます～す！



「じゃーん！ シーフードリゾット」うーん！イタリア～ん！  
しまった！ザリガニを入れれば良かった！「リゾット」は米  
(Riso)と最高(ottimo)を合わせた造語である。フム・フム



薪ストーブのおき火でトルティーヤ(タコス)の皮を軽く焼  
きます。うーん！メキシカ～ん！



おー！豪華だ！アボカドディップもあるでねーか！  
近年にないグルメキャンプだ！



それでは、いただきます～す！ そーれ！炭水化物祭りだ！  
ワッショイ！ ワッショイ！



オニギリもそうだが、手で持って食べる料理は格別だ  
なー！贅沢を言えばスープが欲しかった。



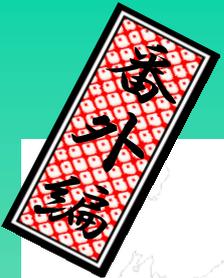
ウマ・ウマ、モグ・モグ 今年のビーバーは良く食べるビー  
バーらしい。



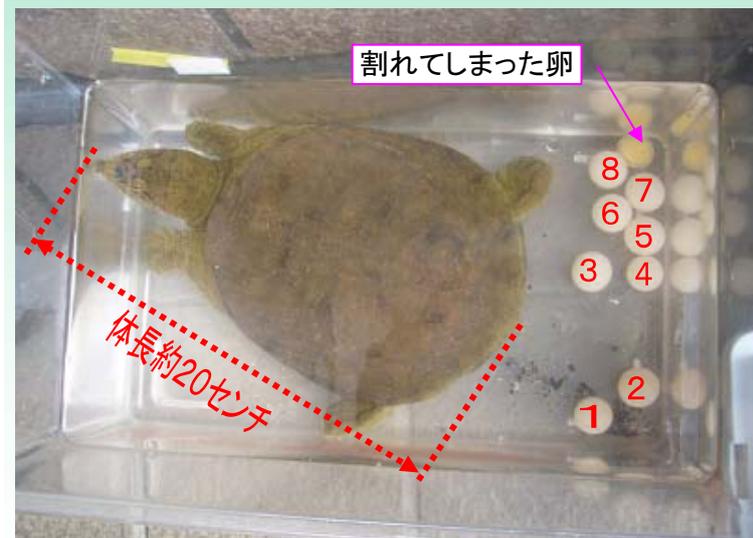
デザートは「フルーツポンチサイダー」 白玉入りである。なぜか白玉が、タピオカみたいになってしも一た。でも、オイシー！

大きな輪で解散「大きな輪……」「ビバ・ビバ・ビーバー」

# M副長帰省する



7月26日の、かっぱ祭り鼓笛隊終了後、ヨندانバード2号(セレナとも言う)で片道約1,440<sup>キロ</sup>の鹿児島(県北)まで帰省しました。16時間で行けるので思ったほど、日本もそんなに広くはないなー！次はパリ・ダカールラリーでも出てみるか？ 実家の下にある川には、石亀がいて、息子スカウトのペットとして今回は2匹捕獲し、一緒に上京しました。川に石亀獲りに行くと、なんとスッポンも確保。ボーイ隊長と「ヤミ鍋」に入れようか、今回のキャンプで「丸鍋」にして食べようかと話していたら、ザリガニの時と同じく、我が家の娘スカウトには、「かわいそう！動物虐待だ！」と言われ、息子スカウトは「ポン吉」と名前は付けるし、処遇に困っていると土曜日に産卵してしまいました。名前も「ポン子」に変わり、これでもう食べませんがな！水中に9個産卵し、その1個は自分で割ってしまったらしい。直ちに、土を入れたプラ水槽に埋めました。孵化まで60日かかるそうだが今後どうなることやら！



割れてしまった卵



我が家の庭で繁殖した「亀人」4歳 残念ながら親亀は脱走

今回捕獲した石亀の亀美と亀吉

海亀や石亀の卵は、柔らかくブヨブヨしているが、スッポンはニワトリの卵のように殻が固い。

「親亀の上に子亀を乗せてー♪」仲良しのように見えるが、エサを入れると取り合いで、大パニックになります。

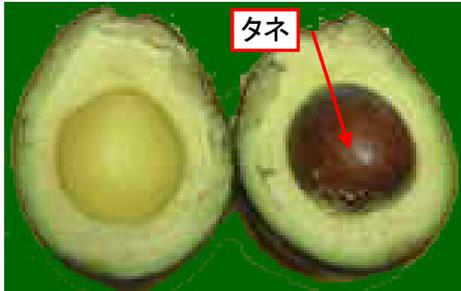
今回のキャンプで、もうひとつネタがあるので、あと1ページ追加します。

追加分です。



# アボカドの栽培

今回のキャンプで、トルティーヤ(タコス)のソースとして、アボカドディップを作りましたが、その種は発芽させ観葉植物として栽培することができますのでご紹介します。アボカドを調理していたスカウトたちは、種を持ち帰ったようですが、簡単に発芽しますので、ぜひチャレンジしよう！ 土に埋めても良いけど、発根・発芽のようすを観察するのあれば、水栽培が良いかも！



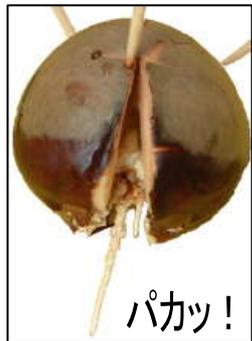
1. アボカドに、傷を付けないように包丁で割り、種を取り出す。
2. 実から取り出したタネは、実が付着していると水が腐りやすくなるし、吸水性も悪いので、薄い洗剤を使ってよく洗います。油っぽさが残らないようにします。
3. アボカドに、爪楊枝を刺します。タネには上下があり、平らになっているほうが、割れて、根が出てきます。爪楊枝は水平に刺すと、水を容器に一杯入れなければならないので、斜めに4本刺すと安定します。発根するのは、平らになっているほうで、とがっているほうから芽が出ます。どこから割れるのかは、分からないので、楊枝は適当に刺しておきます。



4. 種の半分を水に浸すようにします。全部、水に入れてしまうと呼吸ができなくなり、腐ってしまいます。水を腐らせないため、容器の内側がぬるぬるにならないように水を替えましょう。乾燥を避けるため、直射日光には当てないようにします。最低気温は15℃以上にします。まずタネの下の部分が割れます。そして、根が出て来ます。種が割れるには、1~6週間かかるようです。右の3枚目の写真のように根が出てから、実の上のほうも割れて、芽が出てきます。水だけで栽培していても、半年くらいは成長して数枚の大きい葉をつけますが、早いうちに鉢植えにしたほうがよいでしょう。

## <注意>

長期冷蔵保存した物は、発芽率が低下するようである。



水栽培でもこんなに育つぞ！

## 冬の管理

冬は、室内に入れ、できるだけ5℃以上にします。気温が下がるようなら、ビニールなどで覆います。一時的にはマイナス5℃にも耐えるようですが、低温が続くと葉ばかりでなく、枝の先端も枯れてしまいます。観葉植物として葉をきれいに保ちたいならば、最低室温を10℃くらいにするとよいようです。室内を加熱し、アボカドが成長しているならば、日に1回の水やりを行います。室内を加熱しないならば、成長が止まりますから、土が乾いてきたら少量の水を与えます。低温時に過湿になると、根腐れを起こしますから、水のやりすぎには注意しましょう。気温が低くて、冬に葉を全部落としてしまっても、茎が生きていれば、春になればまた葉が出てきますから、捨てないようにしましょう。



## 我が家のアボカド軍団

H20.8.11実験開始

(左より)

- ①ヘンリー少尉 ②サンダース軍曹
- ③ケリー ④カービー ⑤リトル・ジョン

\* どっかの蝶の名前みたいだが、まあ、良いか！

今後の生育状況をお楽しみに。

家族:「こういうのって、自由研究のテーマになるから、夏休みが始まる前に教えれば良かったんじゃないの？」 M副:「うーん、痛いところを突かれた！ その通りである。みんな、来年以降のネタに使ってくれー！」 前にも、掲載しましたが、我が家の玄関脇の花壇には、サクラamboの木が生まれました。とりあえず、ブドウや桃などの果物のタネは、食べたら庭に蒔いて見るべし！ 息子:「タネなしブドウはタネがないけど？」 M副「それは、タネはあるが、ジベレリンという植物ホルモンを使い……………長くなるので今回はやめとこう！」

～ これらのページの写真と文は、保護者で参加したカブ隊M副長によるものです。～

ボーイスカウト茨城県連のホームページも見るといい！ いろいろな情報や写真コーナーもあり、牛久4団も出てくるぞ！